

今年の春は三年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に以前の生活を取り戻すようになってきました。公演も数多く上演されるようになり、むすびの会でも 20 周年記念事業として 2 か年に渡り公演を主催します。本号では 2022 年度の公演の報告させていただきます。



## 本物に触れる魅力

吉岡晶子  
むすびの会 理事  
元お茶の水女子大学附属幼稚園教諭



むすびの会が毎年子どもたちを集めて様々なワークショップを主催していた頃の思い出について書かせていただきます。

私自身、様々な伝統芸能に触れる機会をもち、能、狂言をはじめとして能楽小鼓や文楽人形の体験をさせていただいたことが印象深く残っています。

参加していた幼稚園児や小学生たちと一緒に初めての体験をし、子どもたちが夢中になる様子から体験することの素晴らしさを実感しました。ワークショップに参加をした子どもたちや保護者ともその後に話をする機会があり、体験後に「子どもが家でも台詞（歌舞伎）を言っています」「子どもが興味を持ったので、劇場へ鑑賞に行きました」などの言葉を聞くこともありましたが、言葉やからだで表現されたことは、幼い人たちにも何かしら響くものがあり、しっかり伝わっていくという種まきの重要性を再確認しました。

また、むすびの会では「本物に触れる」ということを大切にしよう、「本物の定義とは」ということが初期の頃の研究会で議論されていました。むすびの会の実演家の先生方はどなたも「本物」を感じさせる先生方です。それはきっと子どもをはじめとして人々に伝統文化を“伝えたい”という思いが真剣であるということだと思います。伝統芸能、伝統文化の初心者にその魅力に触れるきっかけをつくらうとするむすびの会の社会的な役目は益々大きくなっていくことでしょう。今後も応援団の気持ちで関わらせて頂けたらと思っています。

## 活動報告

### 1. 通常総会

2022年6月4日 第20回通常総会  
明治大学駿河台キャンパス  
リバティタワー1124 教室にて実施 (14名)



### 2. 講座主催

2022年6月4日  
明治大学駿河台キャンパス  
リバティタワー1124 教室にて実施 (19名)



## 研究者による伝承者の世界紹介

### 琉球舞踊家 志田房子の歩み 発表者：波照間永子（明治大学教授）

琉球舞踊立方 志田房子は昨年度、琉球舞踊立方として最初の重要無形文化財各個指定 [人間国宝] に認定されました。沖縄は今年本土復帰 50 周年の年となりましたが、志田先生の踊りは常に沖縄の人々を励ましてきたと言われていています。志田先生の歩みを知るとは、琉球舞踊の歴史を知ることにも直結しています。今回は、ご自身も琉球舞踊家として活躍されてこられた波照間先生による志田房子先生の歩みをご紹介します。

### 大倉源次郎による能楽紹介 発表者：森田ゆい（東京立正短期大学准教授）

能楽小鼓方 大倉源次郎（重要無形文化財各個指定 [人間国宝]）は能楽が伝える世界を若い時から探求し、一つ一つの作品が伝える意味について著作などで述べています。今回はむすびの会で 20 年間活動を共にやってきた森田先生による大倉先生が考える能楽の存在意義についてのお考えをご紹介します。

### 事務局より

20 周年記念事業 『祈りの表現』公演にご出演を賜った志田先生と大倉先生の背景や芸能に対するお考えなどについて研究者が紹介する講座を開催いたしました。

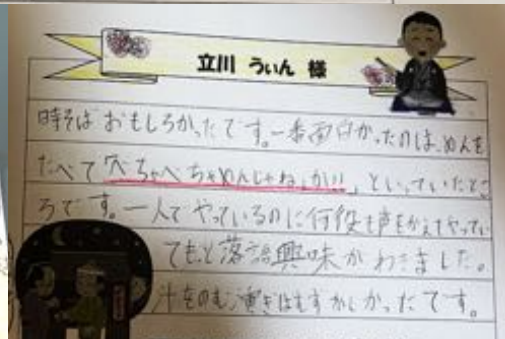
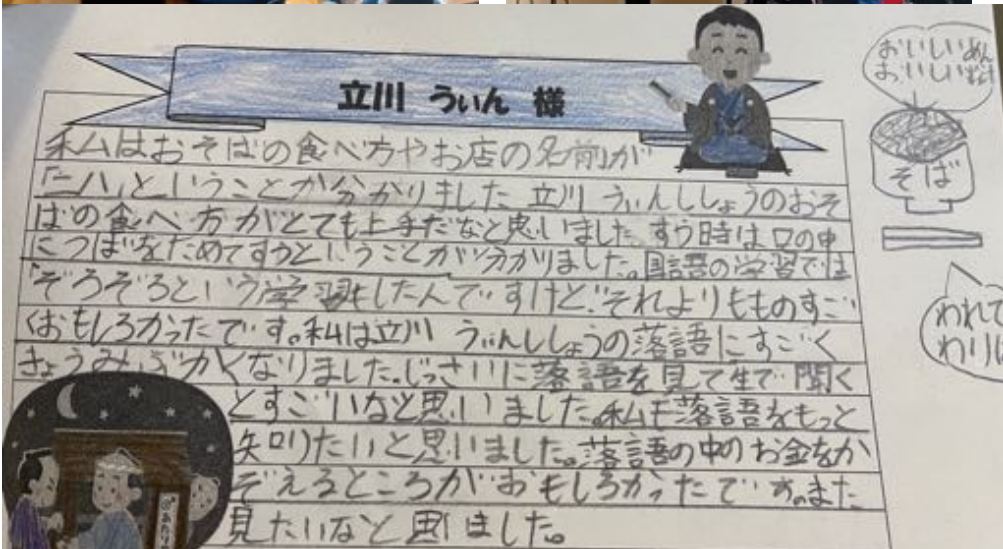
お聞きになられた上で、公演を鑑賞された皆様にはより先生方の魅力が深く伝わったのではないかと思います。お二人の実演家の先生方と発表者の研究者二名は 20 年間共にむすびの会で活動をして来たメンバーです。むすびの会ならではの講座だと思いました。

### 3. 指導者派遣事業

1) 落語 お話と高座 千葉県浦安市立見明川小学校 4年生(90名)

講師：立川ういん (落語家 ニツ目)

2022年12月6日



PTA 学級委員 O様からのお手紙より

立川師匠の講演は子供との距離も近くアットホームな雰囲気の中で時代背景のお話も大変わかりやすかったと教師達からも大好評でございました。

## 2) 琉球舞踊語 学習院女子大学「伝統文化論Ⅴ(舞踊)」受講者(20名)

講師：志田真木 (琉球舞踊家) 2023年1月13日



### 事務局より

琉球舞踊の基本的な解説や真木先生の舞踊家としての琉球舞踊の魅力、学生からの質問への回答、そして紅型の着物の衣装を学生さんに羽織らせて頂き、学生さんたちも一気に琉球舞踊を近くに感じた様子でした。

### 学生さんの感想から

琉球舞踊の「手の動き」がとても美しく印象的だった。また、他の舞踊と比較すると衣装や表情、身体の動かし方に至るまで一つのふんわりとした温かい空気感を大切にする点が琉球舞踊の特徴であるように感じた。琉球舞踊を辞めようと思ったことはあるかという質問に対して、真木先生が「辞める選択肢がなかった」と回答されていたのも印象に残っている。伝承者として困難なことに直面した際にも、一つ一つの課題に対して真摯に向き合ってくれたからこそのお答えだと感じた。次の機会に琉球舞踊の舞台を鑑賞したいと思った。

古典、雑踊り、創作を見たが、雰囲気やテンポ、踊る人数などによってこんなにも楽しみ方が変わるのだと驚いた。今回いくつかの演目を拝見させていただいたが、基本動作は変わらずともどれも動きの自由度が高く、踊っている演出者に観客を楽しませようというものが伝わってきた。

古典踊り、雑踊り、創作舞踊はそれぞれの特徴を持ちつつも共通する部分も沢山存在する。特に魅力的だと感じたのは表情の作りと観客へ向かう姿勢という二点である。表情は穏やかながら凛々しさも失わない温かみのある雰囲気を保っていてその温度がこちら側にもじんわり伝わってくるような感覚を覚えた。また観客に向かって踊る時、180度どこにも平等に身体を向けながら表現していることが多い。琉球舞踊は目の前にいる相手へ直接的に伝えるという印象が強く「今、あなたの為に踊っているんですよ」「あなたに伝えたいんですよ」ということが目の前で見ている人々に投げかけられるような感覚がある。琉球舞踊は舞踊だけでなく、踊っているその人自身を身近に感じられる芸能である。

#### 4. 20周年記念事業

公演タイトル：祈りの表現 能楽と琉球舞踊 人間国宝によるお話と実演

開催日時：2022年8月10日 14時～16時

チケット販売：一般95枚、学生60枚 165枚+招待5枚（新聞社、後援団体）  
満席となりました。

※コロナ対策にむすびの会スタッフ一同、全力で奮闘致しました。

取材：沖縄タイムズ, 琉球新報

出演者：大倉源次郎先生 能楽小鼓方人間国宝 設立時よりむすびの会理事  
志田房子先生 琉球舞踊 人間国宝 設立時よりむすびの会理事  
比嘉 聰先生 組踊音楽太鼓 人間国宝  
志田真木先生 琉球舞踊 むすびの会会員  
馬野正基先生 能楽シテ方 むすびの会会員 他

観客：後援団体 全日本通訳案内士連盟様より10名, 学生61名

スタッフ：むすびの会スタッフ・理事メンバー7名、学生スタッフ13名

助成：文化庁 ARTS for the future! 2

#### 当日の様子





人間国宝お三方のお話はとても味わいがあり、  
 学生さん達からの素朴な質問にユーモアを交  
 えて楽しくお話くださいました！



前日リハーサルの様子



当日 スタッフの様子



学生さんが撮影した当日の舞台、出演者と観客へのインタビューを編集した動画が  
 YouTube で公開されています。むすびの会 HP にリンクがあります。是非ご覧下さい！

アンケート感想より

2) 公演のご意見や感想を教えてください。

特に  
 ・ 生来初めての琉球舞踊や能をみた。おまの祈りの表現に関する  
 対談でそれぞれの平和に於いての種いなど「を聞」けたのが良かった。  
 ・ それぞれの舞踊で、舞台の使い方が全然違ったこと  
 興味深かった。  
 ・ つづきの大きさを種類で全くちがった表現になるの  
 おもしろいと思った。

1) 公演のご意見や感想を教えてください。

とても勉強になりました。  
 私は通訳案内士の仕事をしておりの  
 日本伝統芸能の素晴らしさを外国人ゲストへ伝えていきたい  
 と思います

2) 公演のご意見や感想を教えてください。

今おまの公演とエフエム福岡で観た。  
 能舞の舞踊が素晴らしい。  
 お話もおもしろかったです。追加がありました。  
 色々な人柄も知り、とてもおまの公演が  
 大好きです。

琉球新報 2022年8月24日朝刊

能楽と琉舞で「祈り」  
 東京 人間国宝がお話と実演



人間国宝の志田房子が披露した「稲まつん」  
 =10日、東京都港区の鏡仙会能楽研究所

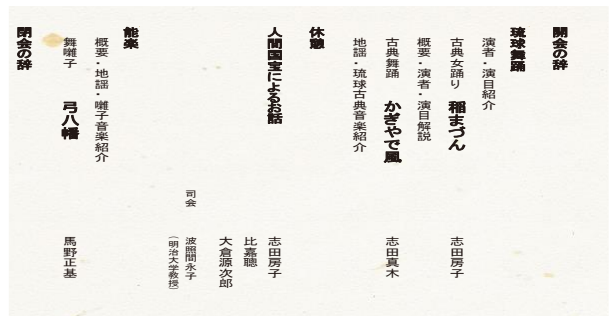
【東京】「祈りの表現 能楽と琉球舞踊」をテーマにした人間国宝によるお話と実演が10日、東京都港区の鏡仙会能楽研究所であった。琉球舞踊重鎮流宗家の人間国宝、志田房子が古典女踊りの「稲まつん」を公演冒頭で披露した。お話では、志田がウクライナ侵攻を引き合いに文化が戦争で失われる危機に恐れ「美しい音楽や舞踊を皆さんと共有できる世界にしたい」と呼び掛けた。

人間国宝3氏による対談では、志田と組踊音楽太鼓の比嘉聡、能楽小鼓方大倉流十六世宗家の大倉源次郎が対談した。大倉は「争いで分断を好む社会は日々の

積み重ねが大切な文化をつないでいくためには良くないんだと、伝統芸能は教えてくれている」と語った。比嘉は「祖先崇拜、ニライイカナイ信仰などを基に村の繁栄や五穀豊穡を祈る行事が沖縄にはあり、こうしたものが合体して多彩な芸能が生まれてきた」と平和な生活の中でこそ生まれる琉球芸能の成り立ちを説明した。

公演は伝統芸能の実演家や学校教員らで構成する「むすびの会」の設立20周年事業として行われた。会場は多くの一般来場者のほか、大学生らで満席となった。

(斎藤学)



## 5. 会員情報

狂言 山本東次郎先生（発起人）  
令和4年度 文化功労者



琉球舞踊 志田真木先生  
令和4年度 文部科学省 芸術選奨文部科学大臣賞受賞



齊藤知子先生（顧問 前理事長）  
令和4年度 秋の叙勲 瑞宝双光章 受章

誠におめでとうございます !!



むすびの会 HP <https://www.musubinokai.org>  
むすびの会の活動は、facebook でも随時公開中です。

発行 2023年3月 特定非営利活動法人 日本伝統芸能教育普及協会 むすびの会  
〒145-0071 東京都大田区田園調布 1-12-14-207 <https://www.musubinokai.org>